



希望の子

令和6年6月25日(火)

第7号

校長 吉家 恵美



学校 HP

学校教育目標:～脊振を愛し 進んで学ば たくましい子どもの育成～

【 ～地域とともにある学校～

「コミュニティスクール」としての出発】

例年より遅い梅雨入りでしたが、特に今週は雨が続きそうです。とはいえ、日中陽が差すと、とても暑く熱中症にも気をつけなければいけません。外遊びが大好きな脊振っ子ですので、時間を制限して昼休みの時間を過ごさせる時もあります。

さて、保護者様や地域の皆様には以前からお伝えしていたように、今年度から脊振小中学校は「コミュニティ・スクール」としての歩みを始めることとなりました。先日(12日)には第1回学校運営協議会を開催しました。この会は、市町教育委員会が委員(保護者、地域住民、学識経験者等)を任命し、委員は学校運営の方針を承認したり学校運営に必要な支援を行ったりする仕組みになっています。

当日は、委員の皆様から「脊振には愛着があります」「子ども達との関わりを持ち続けたい」などの声が聞かれ、大変心強く思いました。年間5回の協議会を行います。よりよい学校、子ども達と地域をつなぐ学校になるよう、委員の皆様にはご協力いただきます。よろしくお願いします。



第1回学校運営協議会の様子(脊振中ランチルーム)

【 入賞おめでとう 】

～虫歯予防ポスター(神埼地区審査)～

・優秀賞

◆家庭、地域には公表してあります。

※6月から10月にかけて、入賞作品は地区内小中学校に巡回展示されます。

※敬省略しています。

【 自主性を育む 】

学校では、校内のことを学級や委員会の代表で話し合う「代表委員会」を行っています。先日はその第1回の会で、「学校生活をよりよくするために」という議題で話し合いました。

「楽しいこと、嬉しいことを増やしていこう」「誰にでもあいさつしよう」等が決まったようです。

4月に、私の方から子ども達に学校目標について話した時に、『大好き脊振～学校は私たちがつくる～』というキャッチフレーズを提示しました。子ども達には、自分達のことは自分達で決めることができるんだ、という達成感や意欲を味わいながら育てたいと思っています。もちろん、代表委員会の場面もその一つです。

【 授業参観(ふれあい道徳) 】

15日(土)は今年度1回目の土曜授業・ふれあい道徳(授業参観)にたくさんの方にお越しいただきました。それぞれの学年で、発達段階に応じた題材での道徳の学びを公開しました。

1・2年生は、家庭での自分ができることを考える授業。お手伝いや家族との時間がテーマでした。

4・5年生は「いい人ってどんな人だろう」という担任の問いかけから始まり、それぞれの個性やよさについて一生懸命に考えました。

6年生は、小学校最後の運動会前日のある家庭での出来事を家族それぞれの立場から、おうちの方々と一緒に考えた「はじめてのアンカー」。

3教室すべて、事例や自分の経験に基づいて、それぞれに「自分はどうか」「自分ならどうするか」を一生懸命考えていました。

6年生



4・5年生

1・2年生



どの教室でも、保護者の方が子ども達に直接関わり、グループ協議を温かく見守ってくださりました。

～校長室の窓から～

6年生の掲示板に短歌が掲示してあります。立ち止まり、全部の句を読んでみました。(6年学級通信では既に紹介ががあります)「たのしみは・・・とき」の型はあるものの、言葉に込めた思いは個性に溢れています。好きなことや物、楽しい瞬間がよく伝わります。言葉たちって、凝縮するとより鮮明に伝わるものですね。

『たのしみは やりたいことを メモに書き ランク付けして 満足するとき』 by よしいえ